

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2009-178803(P2009-178803A)

【公開日】平成21年8月13日 (2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-20053(P2008-20053)

【国際特許分類】

**B 2 5 F 5/02 (2006.01)**

【F I】

B 2 5 F 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月22日 (2010.9.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モータと、

前記モータを収容するハウジングと、

前記モータによって回転される遊星ギヤ機構と、

前記遊星ギヤ機構によって回転されるハンマと、

前記ハンマによる回転打撃力が伝達されるアンビルと、

前記遊星ギヤ機構、前記ハンマ、前記アンビルを収容するギヤカバー及びハンマケースと、  
を有する回転打撃工具であって、

前記ギヤカバー又は前記ハンマケースの少なくとも一方に、貫通孔を形成し、

前記貫通孔を通気性部材で塞いだことを特徴とする回転打撃工具。

【請求項 2】

前記ハンマケースに前記貫通孔が設けられており、

前記ハンマケースには、凸状リブが設けられており、

前記凸状リブに前記通気性部材は保持されており、

前記ハウジングは、前記凸状リブと嵌合するよう構成されていることを特徴とする請求項  
1 記載の回転打撃工具。

【請求項 3】

前記凸状リブは、第 1 の凸状リブと、第 2 の凸状リブとを有し、

前記貫通穴は、前記第 1 の凸状リブと、前記第 2 の凸状リブの間に設けられることを特徴  
とする請求項 2 記載の回転打撃工具。

【請求項 4】

前記ハンマケースに前記貫通孔が設けられており、

前記ハウジングは、前記貫通孔、前記通気性部材を覆うように設けられることを特徴とす  
る請求項 1 記載の回転打撃工具。

【請求項 5】

前記貫通孔は、前記ハンマケースの下部に設けられることを特徴とする請求項 1 から請求  
項 4 のいずれか 1 項記載の回転打撃工具。

【請求項 6】

前記ギヤカバーは、前記遊星ギヤ機構を保持しており、

前記ギヤカバーに前記貫通孔が設けられており、

前記ギヤカバーに前記通気性部材を設けたことを特徴とする請求項 1 記載の回転打撃工具  
。

【請求項 7】

前記通気性部材は、前記ギヤカバーと前記ハウジングによって挟まれるよう配置されるこ  
とを特徴とする請求項 6 記載の回転打撃工具。

【請求項 8】

前記遊星ギヤ機構には、スピンドルが接続されており、

前記スピンドルに前記ハンマが保持されており、

前記スピンドルを回転可能に保持するベアリングが設けられており、

前記ギヤカバーに前記ベアリングが保持されており、

前記ベアリングの径方向外側に前記通気性部材が設けられることを特徴とする請求項 6 又  
は請求項 7 記載の回転打撃工具。

【請求項 9】

モータと、

前記モータを収容するハウジングと、

前記モータにより駆動される回転打撃機構と、

前記回転打撃機構に接続される先端工具と、

前記回転打撃機構を収容するギヤカバー及びハンマケースと、を有する回転打撃工具であ  
って、

前記ギヤカバー又は前記ハンマケースの少なくとも一方に、貫通孔を形成し、

前記貫通孔を通気性部材で塞いだことを特徴とする回転打撃工具。